第３学年３・４組男子　保健体育科学習指導案

指導者　　福井　陽向

１　単元名　球技「サッカー」

２　単元について

(1) 本単元は、学習指導要領の目標［体育分野　第３学年］２　内容E　球技(1)ア「ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること」を扱う。

サッカーは１個のボールをめぐって、集団と集団とが入り交じって行うスポーツである。ドリブルやパスを使ってボールをゴール近くに進め、相手ゴールにシュートして得点を競い合うところに楽しさがある。広いコートを使って攻守に駆け回る動きやスピーディーな動きの繰り返しであるため、瞬発力、敏捷性、持久力などの身体的機能を高めることができ、体力向上期の中学生にとっては学習する意義の大きな競技である。また、集団や個人の技能に応じてルールを工夫することができるため、性別や年齢、障がいの有無に関わらず手軽に楽しむことができ、生涯スポーツにつながりやすいと考える。

本単元では、サッカーを通じて個人がどのように動けばよいのかを考えるとともに、チームで課題を見つけ、なかまと連携した動きでゲームの攻防を展開する力を身に付けさせたい。

(2) 本学級の生徒は、３組16人、４組15人の男子生徒計31名で、授業に対して明るく積極的に取り組んでいる。しかし、昨年実施したサッカーの授業では、基本技術がなかなか習得できなかった生徒もおり、サッカーに苦手意識をもつ生徒は少なくない。事前アンケートでは、「サッカーの授業が楽しい」と回答した生徒は31名中、28名、「あまり楽しくない」と回答した生徒は３名であった。「サッカーの授業で、どんな技術を習得したいか」という質問に対して、20名の生徒が「パスの技術を上達したい」と回答した。つまり、サッカーの授業は楽しいが、パスやドリブル、シュートなどの基本技術はなかなか習熟できていないことがうかがえる。

(3) そこで指導にあたっては、次の点に留意したい。

・基本となるドリブルやパスの練習を毎時間設定し、個別指導やチーム指導で基本的な動きや連係プレイを体得させる。また、毎時間に学習課題にあった練習方法を提示し、各チームの課題が明確になるようにする。

◎技能が未習熟な生徒に対して、技術のポイントを振り返らせることで技能習熟につなげる。

・チームごとに準備運動から練習までのメニューを決めさせ、集団での所属意識やチーム力を高める。また、振り返りを個人、チームで行うことでなかまと課題解決に向けて取り組むように意識させる。

・タブレットＰＣで前時のゲームを視聴してチームの課題を発見させ、課題解決に向けた話し合いの場を設定することで、課題にあった適切な練習方法を選択させる手立てとする。

・チームの課題を考えることが難しいチームには、動画内の空いているスペースをどのように活用すればゴールに近づくかを考えさせる。

３　学習指導目標

(1) サッカーの特性に関心をもち、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうとともに、作戦に応じた技能でなかまと連携しゲームを展開できるようにする。

　(2) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて練習を工夫できるようにする。

　(3) 授業に意欲的に取り組むとともに、フェアプレイを守り、チームの話し合いに参加し、互いに助け合

い教え合うことができるようにする。

４　学習指導計画

(1) オリエンテーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１時間

(2) 基本技術の振り返り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１時間

(3) なかまとの関わり方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１時間

(4) 空間を作り出す、空間を使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５時間　（本時３／５）

(5) ５対５のゲーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２時間

(6) まとめ、評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１時間

５　本時の学習指導

(1) 本時の目標

・　前時のゲームの動画を視聴し、自分のチームの課題を見つけ、改善する練習を選択し、ゲームに生

かすことができる。

・　安全かつ協力的な態度でゲームや練習に取り組むことができる。

(2) 準備物　サッカーボール、ビブス、タブレットＰＣ、ミニホワイトボード６枚、振り返りシート、作

戦盤６枚

(3) 学習指導過程〔「個を生かす協働的な学び」の場面・◎「個に応じたきめ細かな指導」での支援〕

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習内容および学習活動 | 予想される生徒の反応 | 指導上の留意点および支援 |
| 見通し（５分） | １　ホワイトボードの前に整列する。  (1)服装を整え、挨拶をする。  (2)本時の授業の流れを確認する。  ２　学習課題を確認する。  チームの課題にあった練習方法を選択し、ゲームに生かそう。 | ・大きな声で挨拶をしよう。  ・ゲームで生かせるようチームの課題を見つけるのだな。 | ・服装に不備がある者には直すよう指示をする。  ・本時のねらいは、前時のゲームより個人の動きに意図があるようにすることをねらいとしている。 |
| 探究（４０分） | ３　タブレットを視聴し、チームの課題を考える。  (1)チームのゲームでの動きを視聴する。  　・チームの課題を話し合い、ホワイトボードにまとめる。  (2)課題にあった練習方法を選択し、全体に共有する。  ４　全体で準備運動を行う。  ５　各チームで練習を行う。  ６　５対５のゲームをする。  (1)１ゲーム２分で行う。  (2)再度ゲームを行う。  (3)片付けを行う。 | ・みんなが止まっていて、スペースを作れなかったな。  ・スペースへのパスがうまくできなかったな。  ・スペースを作るために、３対２の練習をしよう。  ・スペースへのパスを上達させるために、ランニングパスの練習をしよう。  ・けがをしないように準備運動を十分に行おう。  ・スペースを作るために自分から積極的に動こう。  ・スポーツマンシップに則り、正々堂々と行おう。  ・パスが繋がるようになってきたな。  ・前線での動きをもっと大きくしてみよう。  ・味方と声をかけ合おう。  ・味方が作ったスペースを活用することを意識して  ゲームをしよう。  ・１試合目と比べて左右からの攻撃が多くなったな。  ・縦へのパスがうまく通るようになったな。  ・みんなで協力して行おう。 | ・各チームのミニホワイトボードに書かれた課題と練習方法に色ペンでラインを引き、全体に共有することで各々の課題を理解できるよう指導する。  ・どのような練習方法を選択したかをホワイトボードに示し、チームの課題と合っているかを考えさせる。さらに工夫したいところや練習で気を付けたいことを確認することで、課題意識を高める。  ・安全に運動が行えるように足首周りを中心に準備運動をするよう指示する。  ・各チームの練習内容を確認しながら指導を行う。  ・ゲーム開始・終了時の挨拶は、相手を尊重し、敬意をはらう表現であることを確認する。  ・休憩の間に課題について再度話し合いをさせることで、次のゲームに目標をもって取り組めるよう指導する。  ◎攻撃でうまくいったところといかなかったところの違いを考えさせることで、課題を見つけやすくさせる。  ・教師がコートの外から気付いたことを伝えるようにする。  ・全員が協力して片付けをするように指示する。 |
| 振り返り（５分） | ７　本時の振り返りをする。  ・振り返りシートに個人やチームの課題、良かったところを記入する。 | ・前回のゲームと比べて、コートを広く使って試合ができたな。  ・ゴール前での動きが多くなったな。  ・Ｂチームのスペースを作り出す動きが良かったので、意識して動いてみよう。 | ・振り返りシートには、本時気付いたことや、個人やチームの課題、良かったことを書くように助言する。  ・各チーム、自分たちのゲームを見て良かった場面を取りあげる。 |

(5) 評価

・　チームで協力して課題を見つけ、練習やゲームで積極的に解決しようとしたか。

・　安全に気を付け、課題に合った練習を意識してできたか。